

今月の一言

キーワード：指示待ち

近頃の子どもを見ていると、「指示待ち」の子が非常に多いように思います。与えられたことはしっかりとできるけれど、自分から何かを率先してやれる子が少なくなったのではないのでしょうか。それはつまり、考えて行動できる子どもが少なくなっているということになります。なぜ指示待ちの子どもが多くなっているのでしょうか。それは、親の子どもに対する接し方に原因あるのではないかと私は思っています。

今の親は、子どもができないことをなんでもしてあげてしまう傾向にあります。子どもは親がなんでもやってくれるのでそれが習慣となり、やがて自分からは何もできなくなってしまうのです。

このように「指示待ち症候群」のような子どもに育ってしまうと、どうなるのでしょうか。大人になって社会に出てから急に、「自分で考えて行動しろ」と言われても到底難しいでしょう。そして大人になってから自発性を身につけようと思っても、なかなか身につくものではありません。

ですから、親はまず我慢することが必要なのです。子どもができないからとなんでもやってあげるのではなく、我慢して見守ってあげることが大切です。それでもできないのであれば、できるようにサポートしてあげましょう。あくまでも子どもにやらせることを心がけてほしいと思います。

著書：三兄弟をプロサッカー選手に導いた子育て論 己 著者：高木 豊

「ものさし」の当て方？

2016年7月25日

さいのう とおる

追伸：梅雨ももうすぐ明け、真夏に突入します。

夏バテしないように、体調管理には注意をしましょう。